



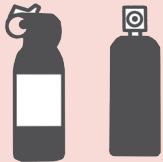
ごみ収集中に火災が発生しました！！

～不燃ごみの中に潜む危険～

先日町委託業者が不燃ごみを収集していた際に、パッカー車内で火災が発生するというトラブルがありました。幸い、収集業者がすぐに異変に気づき対応できたため、大きな被害はありませんでしたが、**一歩間違えれば人命に関わる大惨事にもなり得ます。また、車両が破損した場合はごみ収集にも重大な影響が生じることが予想されます。**

事故処理時における現場検証の結果、回収した不燃ごみの中から小型充電式電池や中身の残ったライター、スプレー缶などが確認されたことから、パッカー車の中で不燃ごみが圧縮された際に小型充電式電池が破損して発火した可能性や、不燃ごみの圧縮時に発生した火花がライターの燃料やスプレー缶の中身に引火した可能性などが考えられます。これらは特に火災の原因になりやすい危険なごみのため、以下の方法で必ず適切な処理をされますよう、強くお願いいたします。

スプレー缶、カセットガス缶



必ず中身を使い切ってから火の気のない場所で穴を開け、ガスが完全に抜けたことを確認してから、これらだけで袋を分けて不燃ごみとして排出してください。

中身の残ったライター



中身が残った状態では回収しません。必ず中のガスを使い切るかガス抜きをして、火が点かないことを確認してから不燃ごみとして排出してください。

小型充電式電池



町では回収できないごみになります。家電量販店やホームセンター等にある小型充電式電池回収ボックスに入れてください。

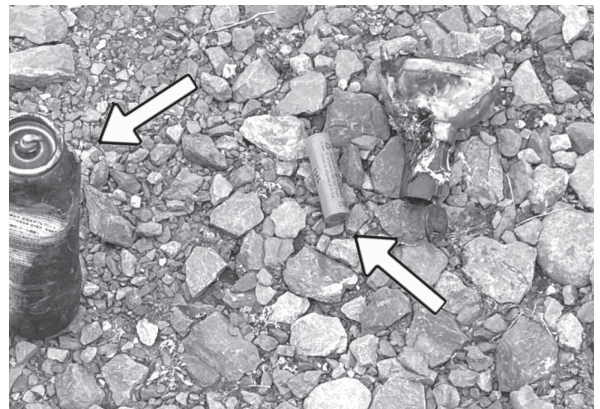
左記マークがついたものが対象となります。



火災のあったパッカー車



燃えた不燃ごみ

火災の原因と考えられるごみ
(スプレー缶、リチウム電池)